

た ま に 、 母 校 を 思 い 出 そ う

# 岡山白陵 忠高

## 同窓会報

発行：岡山白陵同窓会  
〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588  
TEL：086-995-1255



岡山白陵高等学校  
三木重吉先生之像

第27号  
平成31年4月24日

第4回 岡山白陵同窓会総会 (2018年11月17日開催)



／ 今回で第7回目となりますが、本年も岡山白陵高等学校東京同窓会を開催致します。／

### 第7回 東京同窓会「東京碧翠会」

日時 2019年6月29日(土) 15時から18時

会場 With Green Grill & Salad大崎店  
東京都品川区西品川1-1-1 大崎ガーデンタワー101  
TEL 03-6431-8585

会費 学生▶2,000円 社会人▶10,000円

参加予定の先生方(4名)

大森校長先生、石田先生、役重先生、森本先生

#### 参加方法

5月31日(金)までokahakutokyo@excite.co.jp 宛てに、①名前 ②卒業期 ③所属(卒業大学及び学部)を明記の上、参加する旨の連絡をして下さい。

当日の参加者リスト作成のためだけに使用します。

※卒業大学については、参加者名簿には記載しませんが、着席場所決定などの会の運営上、なるべくお知らせいただきますと幸いです。

#### 記載例

同窓会に参加します。

- ①岡白太郎
- ②第1期卒業生
- ③株式会社 三木

### 夏季役員会のご案内

何かとお忙しい時期とは思いますが、役員の方は、万障お繰り合わせの上、是非出席をお願いします。今回も、役員会終了後、懇親会を行います。

日時▶2019年8月24日(土曜日) 15時~17時 場所▶岡山白陵高等学校会議室

懇親会 役員会終了後、岡山に移動して懇親会を行います。

議題 ① 会計報告 ② 今後の同窓会企画 ③ HP、FBの活用 ④ その他

追記 ● 役員の皆様には、個別にメールまたは郵便でも案内いたしますが、参加のご返信をよろしくお願いいたします。

### 縦・横・斜めの糸で、つながりを創ろう



会長  
入江 寛  
(5期)  
HIROSHI IRIE

同窓会会長も3年目となりました。昨年11月17日に岡山で第4回同窓会総会を開催し、卒業生約100人、大森博幸校長先生をはじめ先生方を合わせ計120人を超える方々に参加いただきました。東京同窓会からも来ていただきました。ありがとうございました。大変楽しく、賑やかに、あっというまの時間でした。総会では、同窓会の理念を発表しました。「縦の糸(先輩後輩)、横の糸(同期)、斜めの糸で(地域、職種等)、“つながり”を創り、結び、回し続ける大きな(太くて丸い)柱のような同窓会を目指したい」です。次回総会までの間に、卒業生の皆さんが地域毎や職種毎のグループで自主的に集まることのできるような仕組み等について、FB等の利用も含め、考えて行きたいと思っています。次回の第5回総会は、3年後の2021年の夏季を予定しています。より多くの皆さんの参加を待っています。

先日総会で、広島同郷の1期生の先輩に約40年振りに会い、「そうだ、この先輩がいて寮に一緒に行き帰りをしてくれたから中1で寮生活の白陵に来たんだ」と改めて思い出しました。巡り合わせと進むべき道の選択、人生の

節目節目で繰り返されることですが、当時12歳の自分の場合、先輩の存在と両親の決断と自身の選択で母校とのつながりを創ることができ、今の自分があることを実感します。

同窓会会長となって熊山の母校に行く機会が増えました。校舎は気高く頑丈に変わりましたが、いやしかし、熊山の町、運動場、碧翠寮(第一)等々、そして当時の先生方、変わりませんね。三木省吾学園長がおられた学生時代を思い出します。総会で志水先生も言われていたのですが、私も体の奥深くに「岡山白陵のDNA」がいるのでしょうか。

そんな中、近年、卒業生(校長先生や担任の先生を含め)や母校自体がメディアに取り上げられることも多くなりました。私も母校の旧建物とともに10秒程テレビ(NHK)に映りました。全国レベルで母校の名が広まっていくことを嬉しく思います。41期生は165人が卒業され、またその分同窓会が大きくなりました。受験、ご苦労様でした。

これからも様々な巡り合わせやつながりを大事にして、同窓会活動を行っていきたく思います。本年もどうかよろしくお祈り致します。

### あいつ今何してる?



校長  
大森 博幸  
HIROYUKI OMORI

卒業生の皆さん、元気ですか? 昭和51年創立の岡山白陵中学校・高等学校は今年44年目を迎えました。

私自身は勤務39年目、校長5年目になります。「一人ひとりの生徒を愛し、育み、個々の適性を見極め、確かな将来へ教え導く」という根本理念をもとに、昭和56年に6期生を担任して以降、生徒への変らぬ思いを持ち続けて日々の業務に勤しんでいます。

昨年2月の卒業式では中島みゆきの「糸」の歌詞「縦の糸はあなた。横の糸は私。織りなす布はいつか誰かを暖めうるかもしれない。」「縦の糸はあなた。横の糸は私。逢うべき糸に出逢えることを人は仕合わせと呼びます。」を伝えましたが、今年(41期生)の卒業式では松任谷由実(荒井由実)の47年前の歌「空と海の輝きに向けて」の一節「月のまなざしがまだ残る空にやさしい潮風が門出を告げる。この人生の青い海原におまへはただひとり帆をあげる。遠い波の彼方に金色の光がある。永遠の輝きに命のかじをとろう。」を伝え、「大海」の彼方にある「金色の光」を目指して一歩ずつ着実に確実に歩み続けてもらいたいと話しました。

さて、テレビ朝日系列の番組「あいつ今何してる?」に2年連続で岡山白陵卒業生が登場したことは皆さんもよくご存知だと思います。一昨年は22期生の土畑重人君(京大助教)、昨年は11期生の大野恵介君(ダイソーブラジル社長)、全然タイプの異なる二人ですが、共通したものを

テレビの中から感じることで大変嬉しく思いました。それは「誠実」「謙虚」「真摯」な姿勢で、しっかりと「今」を生きていることです。

テレビ朝日の番組担当ディレクターK氏から、最近もまた「先生が紹介して下さる卒業生の方は絶対外れがないのでまたお願いします。第3弾も期待しています。誰かユニークな方いませんか?」とメールがありました。さすがに、3年連続はないとしてもまた誰かを紹介したいと思っています。卒業生の活躍が紹介されることで、他の卒業生はもちろん、在校生、そして在校生保護者、更にこれから岡山白陵を受験しようと思っている小学生、中学生、それから我々教職員一同に元気が出ます。大変有り難いことだと思っています。「私も是非紹介してもらいたい。テレビに出たい。」という希望があれば、ご一報ください。厳正な審査(?)のうえ、テレビ朝日のK氏に伝えます。

もちろん、テレビに出なくても、あるいは今、全然音沙汰がなくても、いろんな国、いろんな土地で、いろんな仕事に就いて、「今」をしっかりと生きていることだと思えます。

今年6月29日には第7回東京同窓会が有本裕彦会長(6期生)、山本啓介事務局長(28期生)が中心になって開かれます。武文兄弟(24期生と28期生)が経営する「サラダボウルウィズグリーン大崎店」が会場になります。大変楽しみです。

同窓会の益々の発展、卒業生各位のご健康、ご多幸を心より祈念しています。

## 第4回 岡山白陵 同窓会総会報告

平成30年11月17日土曜日、ANAクラウンプラザホテル岡山19階のスカイバンケット「宙」で同窓会総会が開催されました。130名程の参加が予定されており、少しずつ日が暮れていく岡山の街を眺めながら、懐かしい方々に会える喜びと新しい出会いに対する期待、また準備は万全だろうか、来られた方々に楽しんでいただけるだろうかという不安とが入り混じった思いで役員一同準備をいたしました。

開会はお決まりの高橋先生のピシッ?とした号令と長野教頭先生のほんわかとした開会の辞でした。そして、大森校長先生にご挨拶をいただきました。また、同窓会役員会の執行部が刷新されたこともあり、今後の方向性が入江会長より発表されました。乾杯の音頭は、校内幹事の筆頭として最初から会のために尽力くださった志水先生。1期生の先輩方が中心となって運営してこられた前執行部から、ほんの少し若い現執行部へ「任せたよ」とメッセージをいただいたと感じました。

その後は、各テーブルで談笑し、懐かしい先生方のところへご挨拶に伺ってそれぞれに楽しい時間を過ごしました。途中で17期の橋本さんが在学中の懐かしい写真でスライドショーをしてくださいました。また、「岡白すごいです」という企画もあり、「この人のこんなところがすごい!」と推薦していただき、在学中の様子などを同期の友人が紹介するというものでした。終盤では、校内幹事の先生方が登壇、全員での校歌斉唱となりました。また、わざわざ東京同窓会から駆けつけてくださった4名の方々にもご挨拶をいただきました。閉会に際しては、「この学校を卒業してよかったと思えるような同窓会活動を行っていききたい」との思いを山本が述べさせていただきました。その後は、皆様、より懇親を図るべく、それぞれに二次会へと行かれていたようでした。今回は都合がつかず参加できなかった方、次回にはぜひご参加ください。

今回は、イベントをプロデュースする仕事をされている10期生の玉田さんのご協力もあり、参加申し込みから会の運営、進行までいろいろなアイデアが生かされ、とてもスムーズでした。同窓生の方々には、様々な場でご活躍の方が多くいらっしゃると思います。それぞれの特技を生かして、どうぞ今後の同窓会活動にご協力いただきますようお願いいたします。

(副会長 8期 山本(藤原)道代)





4期・5期と校長先生・教頭先生

懐かしい先生

同期生の寺田くんからのお誘いで、今回の同窓会の企画から参加しました。「次につながる同窓会を」と、回を重ねての会議で、役員の方々のご苦勞を実感しました。みなさん、楽しんでいただけましたか？ (10期 石井(玉田)恵美)

いえーい



同期？



小野田先生を囲んで



同窓会では懐かしい先生方と会ったり、色々な方と会って有意義な時間を過ごせました。次は25期生がもっと増えると良いですね。(25期 片山(高橋)英里)

橋本さんプレゼン



校長先生と



中嶋先生を中心に



えええええ

若者の校歌斉唱



校内幹事



9期(左)と5期2人の校歌斉唱



同窓会ではお世話になった先生方や、サッカー部の大先輩ともお話ができ、楽しくお酒を飲むことができました。改めて岡山白陵の同窓の繋がりの良さを感じることができました。(36期 坂井 純)

おまえ、えらくなったなあ



校内幹事の先生方の校歌斉唱



先生と教え子



楽しそうな40期生



同窓会には3回目の出席です。恩師や級友に久闊を叙するだけでなく、先輩や後輩との出会いもありました。今では級友よりもよく合う仲になりました。あの熊山で過ごした日々のおかげです。(22期 山口 心平)

小野田先生ありがとうございます



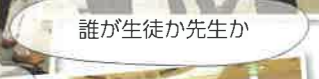
先生と一緒に



女子がいると華やか



誰が生徒か先生か



出席者名簿を見て



楽しい！



東京同窓会より



大津前会長を囲んで



同期だけど名刺交換



同期で



高橋先生と女子



馬場先生を囲んで



今回岡山白陵40期生として同窓会に参加させていただいて、様々な人にお会いすることができました。年齢も就いた職業もばらばらなばかりでしたが、みんな岡白の卒業生なのだと思う不思議な感じがしました。ふらっと話しかけていただいた方がもの凄い外科の先生だったのが印象的で、そんな方ばかりだったので改めて、岡山白陵を盛り上げて、歴史をつくってくださった先輩方の凄さを感じました。一方で、大学の先輩やお世話になった先生方とわいわい話せたのがとても楽しかったです。この同窓会以降お会いできていないので熊山にも行きたいですし、次の同窓会も楽しみです。(40期 木下 和)

# 同窓会便り



## 第6回 東京同窓会 2018年6月30日 於：ガムランボール銀座



西出 善洋 (7期生)

岡山白陵卒業生の皆さま、お元気でしょうか？第6回東京同窓会の会長を務めました7期の西出善洋です。最初に今回、会長になったきっかけについてお話をさせていただきます。私は、岡山白陵を卒業後、バブル時代に東京で就職して以来、約25年間、ずっと同じ会社で、かつ勤務地もずっと同じ川崎で働いておりました。その間、仕事などの現場で、岡白卒業生の方と接することなど、ほとんどありませんでした。が、3年前に、東京汐留にある事務所へ異動になり、「ゆりかもめ」という電車に乗って通勤していたところ、偶然、第5回の会長だった北村紳(7期)さんに会いました。その時の私は、記憶の底の方へ沈んでいた30年以上前の岡白時代を辛うじて思い出し、現在の北村さんの雰囲気と頭の中で重ね合わせ、「あの時と変わっていない!、なつかしい!、あの熊山で生活していた2人が30年以上の時を経て今は、こんな大都会の真ん中で互いに仕事を

しているんだ」などと想いに耽りながら、立ち話をしたところ、第6回会長の話が出て任されたというのが、きっかけです。

私は今、50歳を超えました。昔風に60歳定年まで働くとなると、働く人生の終盤に入ることになるのですが、働く人生を75歳ぐらいまでと考えると、今は、働く人生の中間あたりについて、これから後半に入ることになります。どうせなら、この後半の約25年を、これまでの会社員としての人生の延長ではなく、自分自身の人生を楽しむような人生にしていきたいなあと思ひ、この年になって、知らない分野の本を読んだり、セミナーに参加したりとか、異業種交流会のような場に顔を出したりなど、日々社会勉強に励んでいるこの頃です。

そういった中で、この東京同窓会には、様々な分野で活躍されている方や世代を超えた若い方が来られ、非常に有意義な場であると思っています。

卒業生の皆さま、是非、機会あれば、今年の東京同窓会(2019年6月29日、東京大崎)に、お越し下さい。お待ちしております。



伊達 慶一 (27期生)

第6回東京同窓会の事務局長を務めました、27期の伊達慶一と申します。私は岡山白陵を卒業後、高知大学に入学し、卒業後は高知の病院で外科医として研鑽を積んでいました。高知は岡山より田舎サイドであり、特に学生の間は野山、海を駆け回り、岡上で過ごした幼少期、岡山白陵時代より、自然を満喫していました。なので、社会人になったときは、都会に対するあこがれは全くありませんでした。ところが、就職して3年ほどたちますと、自分の中で、東京で腕を鍛えたいという欲望が、むくむくと育っていきました。社会人としての視野が広がると、やはり大きな流れは日本の中心、東京から発信されており、その中心で自分を試したいと思ひました。(東京でシティな暮らしをしてみたい、というミーハーな気持ちも80%ぐらいありましたが)現在は国立がんセンター中

央病院で研修をしておりますが、東大理Ⅲ出身がごろごろいたり、高知ではいなかった同年代のライバルが沢山おり、楽しく、厳しく過ごしております。(東京でのシティな暮らしも最高です!)ついこの前、手術が終わり患者の覚醒を待っているときに、指導医の医師が岡山白陵の先輩であることがわかりました。学年主任の先生の話、白陵体操、校舎が新しくなった、など二人で盛り上がりました。次はぜひ一緒に東京同窓会に参加しようということになりました。前回参加した東京同窓会では、先輩方から三木先生の話の聞いたり、若い東京の大学生とは仕事の話をしたりと、40年近く違う世代が混ざり、本当に有意義で楽しい会でした。卒業して何年たっても岡山白陵の思い出は色褪せず、年代は違えど、東京で共にならんでいる同志のような気持ちになりました。大都会東京で故郷岡山白陵を思い出すことができる貴重な会ですので、ぜひみなさんも同級生、先輩後輩を誘って参加してください。これからも東京同窓会をよろしくお願ひいたします。



今年度から1期生である志水隆秀先生が教頭先生になりました。また、昨年度から24期の松木謙悟先生、今年度から37期の西村和馬先生も加わり、教頭先生を含めて現在11名の卒業生が母校で活躍しています。この度は、新教頭の志水先生からあいさつをいただきました。



教頭 志水 隆秀 (1期生)

同窓会の皆さん、こんにちは、1期生の志水です。この度、岡山白陵の教頭を拝命することになりました。身の引き締まる思いです。5月には元号も平成から令和になり、新しい時代の始まりを期待させます。岡山白陵同窓会も昨年会長が交代し、新しい体制がすでに始まっています。長年岡山白陵に携わってきた私にとっては大きな変化が起ころうとしているように思います。社会は時代の流れの中で変化していきます。岡山白陵もその変化に応じて変化しているところもありますが、一方でそのまま残しておかなければならないものもあるように思います。岡山白陵が醸し出す文化を新しい時代に伝えていくとともに、変化していく社会の中で、岡山白陵の新たな側面を見出していくことこそ、岡山白陵を卒業し、そこに勤める者にしかできないことだと思っています。新しい時代の中で、縦と横のつながりにさらに違った角度の糸を通し、重厚感の増した絆が築けたらと思っています。ともに頑張りましょう。

## 最近5年間の進路状況

国公立大学	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	合格数	医-医	合格数	医-医	合格数	医-医	合格数	医-医	合格数	医-医
東京大	11		4		3		8		10	
京大	3		5		2		4		1	
東北大			1				2		1	
九州大	5	1	3		3		5		5	
北海道大	2		3		1	1	5		3	1
大阪大	4		4		10	1	8		5	
名古屋大	3		1	1			3			
東京工業大	2		1	2			2			
一橋大			1				2			
岡山大	21	12	22	17	14	11	26	15	21	10
神戸大	7	2	2				3	1	4	
広島大	1		2		1	1	7	2	1	
山口大	6	4	4	3			5	2	2	1
鳥取大	2	1	6	4	8	6	9	5	2	2
島根大	3	3	2	1	2	2	3	3	1	1
香川大	6	3	6	5	7	5	4	7	5	
徳島大	4	3	2	2	1		4	2	3	1
愛媛大	3	2	1	1	5	3	8	2	1	1
高知大	2	2	1	1	3	3	2	2	3	3
他国公立大	42	7	26	5	43	4	33	9	45	6
防衛医科大	8	8	4	4	6	6	6	5	5	5
国公立大学計	135	48	101	44	111	43	150	52	120	36

私立大学	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	合格数	医-医	合格数	医-医	合格数	医-医	合格数	医-医	合格数	医-医
早稲田大	16		27		11		18		15	
慶応大	10		14		8		12		8	
中央大	9		14		8		8		6	
明治大	16		6		7		8		9	
東京理大	6		10		5		19		16	
東京慈恵会医科大	1	1	1	1			1	1	1	1
同志社大	20		23		25		30		12	
立命館大	23		19		14		22		19	
関西学院大	19		15		14		11		7	
関西大	5		7		6		13		9	
大阪医科大	3	3	6	6	4	4	2	1	4	2
関西医科大	2	2	4	4	4	4	5	5	5	3
近畿大	10	5	7	6	12	2	11	1	4	
兵庫医科大	4	4	8	8	9	9	7	7	4	4
産業医科大	1	1	2	2	2	2				
他私立大	116	11	70	18	113	17	128	29	138	32
私立大学計	261	27	233	45	242	38	295	44	257	41

同窓生の皆さん!

## 縦・横・斜めにつながりましょう!!

同期の同窓会、クラブの同窓会、また、地域毎の集まり、職業毎の集まりなどを開いたら、同窓会報に原稿を書いてみませんか? 以下の要領で同窓会事務局に申請してください。活動奨励金として1万円を補助いたします。

- 10人以上の岡山白陵高校卒業生を含む集まりを開催する
- 写真を撮る
- 岡山白陵高等学校同窓会事務局に開催報告をし、所定の用紙をもらう
- 同窓会報の原稿を書き、②写真データと③の用紙とあわせて事務局に提出
- 同窓会本部より1万円が支払われる

役員変更

<新任常任幹事> 水野智恵(9期)、園井教裕(20期)、田中旬一(20期)、須江美裕(34期)、湖中弥咲(38期)、難波秀樹(40期)、木下和(40期)、浅越康介(41期)、小池陽子(41期)  
 <新任校内幹事> 松木謙悟(24期)、西村和馬(37期) <退任> 矢尾淳(常任幹事20期)、酒井茂樹(校内幹事30期)

# 母校便り



## 全国ディベート選手権高校の部 3位! ベストコミュニケーション賞!

昨年夏のディベート選手権の論題は、「日本は国会を一院制にすべきである。是か非か。」でした。私たちは全国大会優勝を目標に、学校での練習だけでなく、岡山県立図書館に集まって資料探しを徹底的に行いました。高校2年生にとっては最後の大会だったこともあり、大会直前には毎日電話越しに助言しあっていました。

全国大会では予選リーグを1位で通過した後、決勝トーナメント1回戦で東海高校、準々決勝で前年優勝の慶應義塾高校をそれぞれ1票差で下し、準決勝に進むことができました。準決勝では優勝した開智高校に1票差で敗れて、目標には届かず3位となりましたが、今大会でプレゼンテーション評価が最も高かった学校として「ベストコミュニケーション賞」をいただけたことは大きな喜びでした。

メンバーは先輩方から受け継いだ「勝ちにこだわるのではなく、相手に伝わるディベート」という考えを支えとして試合に臨み続けました。その成果が今回の結果につながったことを考えると、「先輩」の力の大きさをあらためて感じることができました。先輩方から伝えられたこの伝統を後輩たちにも受け継いでもらい、これからもディベートを通じて全国の仲間と切磋琢磨してもらいたいと思います。

ディベート部・前部長 高橋 奈々美



## 「真備町豪雨被災生徒へ義援金を進呈」

昨年の7月豪雨災害では、倉敷市真備町をはじめ、県内の多くの地域で被害を受けました。同窓生の方の中にも被災された方があったでしょうか。改めてお見舞い申し上げます。

在校生の中にも、真備町で被災した生徒が4名おりました。その生徒のお役に立てればと、8月の夏季役員会で同窓会として1名につき2万円を送ることが承認され、入江同窓会長から大森校長先生へ義援金が渡されました。



## Facebook「岡山白陵」グループについて

Facebook上には「岡山白陵」グループがあります。このグループは、同窓会として公式に設置したものではないのですが、多くの卒業生たちが参加しており、同窓会の情報共有、交流の場の1つとして今後も利用させていただく予定です。Facebookを利用されている方は、ぜひそのグループに参加してください。同窓会からも耳より情報を投稿してまいります。

また、SNSの良さを生かし、将来に向けて地域や仕事でのつながりの可能性も秘めた同窓会の縁を発掘し、母校を同じくする者同士ならではのつながりを活性化させていただくことを期待します。

Facebook「岡山白陵」グループは、「非公開グループ」設定となっています。「秘密のグループ」設定ではありませんので、検索で見つけることができます。参加申請していただければ、随時「管理人」となっている誰かが承認手続きをとらせていただきます。

## 岡山白陵同窓会

〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588 TEL: 086-995-1255

学校ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/> 同窓会ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/dk>

E-mail [dousoukai@okahaku.ed.jp](mailto:dousoukai@okahaku.ed.jp)

## 編集 後記

Editor's note

2018-19年、メディアで最も使われたといっても過言ではないのは「平成最後の」というキャッチフレーズであろう。

1989年から始まった平成という時代。その4月には消費税が導入された。この頃は3%であったが、今や10%になろうとしている。車の購入に際して大きな痛手となる。筆舌に尽くしがたい苦痛がある。また、平成は災害の時代でもあった。平成7年の1月には阪神淡路大震災、平成16年10月には新潟県中越地震、平成23年3月には東日本大震災、平成28年4月には熊本地震があり、大規模な自然災害のみならず、平成17年のJR福知山線脱線事故のような様々な人災にも胸が痛むような、そんな時代であった。兎にも角にも、平成という時代は、その大きな変化ゆえの先行き

不透明な時代であった。

昭和の面影を残す本校にとっても、先行き不透明感はずきまどっていたのではないかと推察されることが度々ある。この先、さらに少子高齢化は加速することも容易に予見され、私立の学校の立ち位置というものは厳しくなっていくかもしれない。しかし、激動の平成にあっても、本校はその文化を守り、確かな証を残してきたことも忘れてはならない。

激動の時代を生きた本校は、次の時代でどう生きるのか。この悠久の時の流れに、どのような証を残すのか。我々同窓生にとって、それは決して他人事ではないのだ。

母校を愛する同窓生として、今こそ団結を。

(34期 佐藤 達成)